

事業所名

放課後等デイサービス てくてく

支援プログラム

作成日

2024 年

8 月

20 日

法人理念		乳幼児から高齢者まで安心して育ち暮らせるまちづくりを、広く住民とともに作りあげる							
支援方針		子どもたち一人ひとりの人権を尊重し、子どもの最善の利益を考慮し、心身の健やかな育ちを保障するように取り組みます。子どもの“ねがい”を大切に、安心できる人間関係に支えられながら子ども自身が主体的に生活や活動できるように支援します。また、生活や活動を通して、仲間と共に育ちあえるように支援します。							
営業時間		登校日 休校日	13 10	時 00	分から	17 00	時まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる環境の中で、さまざまな活動を通し健康な心と体を育てます。 ・睡眠、食事、排泄の基本的な生活習慣に職員や友だちと一緒に取り組み、自ら生活習慣の獲得に向けて取り組む意欲が持てるよう支援します。 ・こどもが食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の生活に必要な基本的動作を獲得できるよう、環境の工夫を行いながらこどもの状態に応じて適切に支援します。 ・事業所における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら、見通しを持って行動できるように支援します。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・生活やさまざまな遊びを通して十分に体を動かし、自ら体を動かすことを楽しんで取り組めるように支援します。 ・さまざまな動きを行う中で姿勢保持や動作、筋力の向上につながるよう、環境の工夫を行いながらこどもの状態に応じて適切に支援します。 ・身近な環境やさまざまなものに関わる中で、興味や関心が広がるように支援します。 ・見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かに育てます。 ・感覚特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの認知の特性を理解し、それらを踏まえ、こどもの状態に応じて適切に支援します。 ・生活や遊びの中で、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用し認知機能の発達を促す支援を行います。 ・生活や遊びを通し、さまざまなものに関わることで、形、色、大きさ、量などの物の性質や仕組み、また、自分の物や人の物の区別や場所的感覚など、概念や環境を捉える感覚を育て、認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動からこどもの思いをくみ取り、こどもの意向を受けとめながら適切な行動が取れるように支援します。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを、言葉や表情や身振り等で表現する楽しさが感じられるように支援します。 ・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びが感じられるように支援します。 ・生活や遊びの中で友だちと言葉のやり取りを楽しみながら、その場にあった言葉遣いができるように支援します。 ・生活や遊びの中で文字等に触れながら、こどもの状態に応じて読み書きに取り組めるよう支援します。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の受容的・応答的な関わりや友だちとの関わりの中で、自己を肯定的に捉え安心して生活できるように支援します。 ・遊びや生活の中で人と関わる楽しさ、心地よさを感じることができるよう支援します。 ・友だちと積極的に関わりながら、喜びや悲しみなど様々な感情体験を味わい、共感しあったり相手の感情に気づくことができるように支援します。 ・こども集団の中で、お互いの良さを認め合いみんなで育ち合えるように支援します。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子や成長の姿を伝え合い、支援の意図の説明などを通じ相互理解を図ります。 ・事業所の特性を生かしこどもと保護者の関わりなどを見守り、その気持ちに寄り添いながらよりよい生育環境づくりに努めます。 ・保護者が必要とする社会資源等の情報提供を行います。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・併用利用先の事業所とこどもの状態や支援内容の共有を行います。 ・地域の中で適切な支援を受けられるよう、学校や放課後児童クラブ等との情報共有や連携を行います。 ・ライフステージの移行時における支援では、移行先との連携を行い一貫した支援が行えるようにします。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様々な場面で適切な支援を受けられるように、学校、保健師や医療機関、相談支援事業所、他の障害児通所支援事業所等との連携を行います。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容の向上のため、こどもの発達、障害種別、障害の特性等、知識の習得を行います。 ・障害者権利条約、虐待防止、家族支援等について、事業所内外の研修に参加し、資質向上を図ります。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり ・ハロウィン ・クリスマス会 ・年越しそばを食べよう ・卒業進級を祝う会 ・買い物体験 ・ハイキング ・クッキング 							